



創造・参加・実践

West・Bus News

西日本旅客鉄道労働組合
西日本 JR バス地方本部
〒530-0012
大阪府北区芝田2丁目1番18号西飯急ビル8F
TEL (NTT)06-6373-0315 (JR)071-4585
email bus@jrv-union.jp
発行責任者 矢田 尊弘
編集責任者 山口 裕之



全体風景

JR 西労組西日本 JR バス地方本部 第34回定期地方本部大会開催!



矢田執行委員長

西バス地方本部は、9月3日(火)サードブレイス弥生0名での開催となりました。来賓には、こくみん共済coopから田口課長、西バス本担当の後藤進課長、明治安田支店長、阿部 山、山本法人営業部長、近畿労働組合、細川支店長、阿部 山、JR連合部長、石川産業政策局長、中央本部より上村執行委員長、西日本ジェイアールバスサービス労働組合奥田委員長にご出席を頂きました。

安全を基礎に絆を強め、未来を切り拓こう!

大会議長には、吉田代議員(金沢分)会)を選出し、議事に入り。矢田執行委員長より、先ずは今年の新年度の元日の夕方に発生した能登半島地震でお亡くなりになられた方々にお悔やみを申し上げるとともに、被災に遭われた皆様のご健康と一日も早い復旧をお祈り申し上げるとして新型コロナウイルスによる災害も2023年5月8日以降、感染症法上の分類を5類へ引き下げられ、1年3ヶ月が経過した。バスのご利用は計画よりも上回っているが、コロナ禍の経験によりバスの運転士に見切りをつけて、離職に歯止めがかからず運転士が足りない状況下で減便等を余儀なくされ、コロナ禍前の便数には届いていませんが、現在の運行本数ペースだと乗車率は90%を超える状況まで回復している。先日第1四半期決算が公表された。決算内容は101億円の黒字となっており、用地などの売却によるもので、バス事業だけを見るとまだ127億円の赤字となっている。昨年度の運行本数が94.8%と少ない本数になっていますが、91億円の改善となっており、貸切バスについても昨年度の運賃の価格改定もあり、44億円の改善となっている。現状は、計画を上回っている状況が続いている。このような赤字が続く状況になったのも、これまでの間、歯を食いばたいて頑張ってきた組合員の努力のたまもの。反転攻勢に向けた舞台は整っている。今年は一時金を支給された。2025年も引き続き、待遇改善を果たし、夢や希望ももてる年にして、離職防止と採用競争に打ち勝てる会社に繋げていくとして4点の提言がなされた。

① 更なる職場からの安全の確立について
福知山線列車事故から今年で19年を迎える。すべての組合員が安全最優先の重要性を理解して職場から取り組みを進めていくが、不断に実行するのは決して容易ではない。安全に絶対はなく、終わりもない。

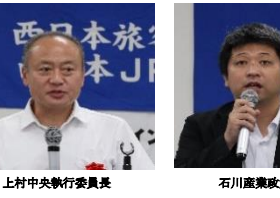
② 2025春闘に向けて
競争力の強化。継続的な賃上げと採用未だ未だ春闘と交渉して交渉に臨んだ結果、西バスでも初の成果を挙げることができた。

③ JR西労組の政治方針は特定の政党を支持するのではなく、私たちの信頼できる政治家個人と連携して支援していくこと。来年7月には、参議院議員選挙が必ず行われる。西バス地方本部は、全国バス産業界の「森屋盛彦」参議院議員の推薦決定をJR連合の大会によって決定した。推薦議員の当選に向け、組合員とその家族に対して、より一層の政治とも理解を深める取り組みを進めることも、「交通政策をすすめる会」への加入拡大に努めたこと、これを要請する。

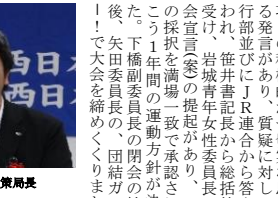
④ 政策実現に向けた取り組み
バス産業の密接に絡めとした交通政策は、政治と密接に絡めとした。私たちが産業や生活にとって、政治は無関心ではない。これまでも組織内議員が議会や自治体に対して、バスの利用促進や持続可能な地域公共交通の構築に向けて働きかけを行ってきた。

⑤ JR西労組の政治方針は特定の政党を支持するのではなく、私たちの信頼できる政治家個人と連携して支援していくこと。来年7月には、参議院議員選挙が必ず行われる。西バス地方本部は、全国バス産業界の「森屋盛彦」参議院議員の推薦決定をJR連合の大会によって決定した。推薦議員の当選に向け、組合員とその家族に対して、より一層の政治とも理解を深める取り組みを進めることも、「交通政策をすすめる会」への加入拡大に努めたこと、これを要請する。

安全を基礎に絆を強め、未来を切り拓こう!



上村中央執行委員長



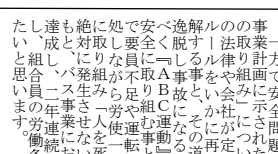
石川産業政策局長

JR西日本グループで働く組合員の生活を守るため、税制や社会保障、地域公共交通のあり方など、使役だけでなく解決すべき課題に対して、仲間と連携し、共に課題を解決し、JR産業の持続的成長に向けて取り組むことと、以上4点について提言がなされた。

議事では、水島書記次長から経過報告、黒田業務部長から協約行動方針(案)、予算(案)の提言が行われ、全体質疑では、7名の代議員からあった。内容は、要員不足について、採用が進んでいない上に高齢化が進んでいない。採用強化に向け待遇改善を図る。採用強化に向け待遇改善を図る。採用強化に向け待遇改善を図る。採用強化に向け待遇改善を図る。



こくみん共済田口課長

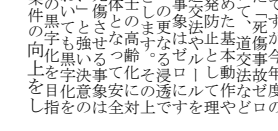


バスサービス奥田委員長

改めてこのコロナ禍を経て、お客様のニーズが変化している。お客様に寄り添ったサービスを提供するために、業務改善を進めていく。業務改善を進めていく。業務改善を進めていく。業務改善を進めていく。



近畿労働組合東瀬川支店長



明治安田山本部長



締結答弁をする笹井書記、松田代議員、安岡代議員、奥本代議員、瀬山代議員、原代議員、北濱代議員、古川代議員、中井代議員